

科目名	特別講義 4							年度	2025
英語科目名								学期	後期
学科・学年	放送芸術科 2 年次	必／選	選	時間数	60	単位数	4	種別※	講義
担当教員			教員の実務経験			実務経験の職種			
【科目の目的】 現在も現役で活躍されている方をお招きし、生の声を聴くことで将来の自分自身を想像し、今後の学校生活でどのように過ごしていくかを考える。 作品鑑賞から繁樹を受け、感性を磨くことが目的である。									
【科目の概要】 映画鑑賞のほか、番組制作担当者から現場のさまざまな体験談を聞きます。									
【到達目標】 番組制作現場を知ることによって将来の自分を見つめ直し、就職活動に生かすことを目標とする。									
【授業の注意点】 キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。 授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。 ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は不合格とする。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル 5	レベル 4	レベル 3	レベル 2	レベル 1				
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力				
到達目標 A	実際の現場で求められる知識や技術を吸収し目標を明確にできた。		実際の現場で求められる知識や技術を吸収できた。		実際の現場で求められる知識や技術を理解する事が出来なかった				
到達目標 B									
到達目標 C									
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】									

資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】
試験と課題を総合的に評価する。自己分析シート提出。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		特別講義 4				年度	2025
英語表記						学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	特別授業① (映画)						
2	特別授業① (映画)						
3	特別授業① (映画)						
4	特別授業① (映画)						
5	特別授業① (映画)						
6	特別授業② (放送技術)						
7	特別授業② (放送技術)						
8	特別授業② (放送技術)						
9	特別授業② (放送技術)						
10	特別授業② (放送技術)						
11	特別授業③ (放送制作)						
12	特別授業③ (放送制作)						

13	特別授業③ (放送制作)						
14	特別授業③ (放送制作)						
15	特別授業③ (放送制作)						
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							